

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和7年度第1回高松市美術館協議会
開催日時	令和7年8月7日（木）13時30分～15時30分
議題	(1) 会長及び副会長の互選について (2) 令和6年度事業報告及び7年度事業計画について (3) 高松市立美術館運営方針の改定について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	小方委員、蓮池委員、佐藤委員、中村委員、百々路委員、植原委員、三井委員、田野委員、古川委員、宮脇委員、石床委員、梶ヶ谷委員、山下委員
傍聴者	0 人（定員 5人）
担当課及び連絡先	美術館美術課業務第二係 823-1711

会議の経過及び結果

【開会】

局 長 －あいさつ－
 事務局 委員紹介
 事務局職員紹介
 事務局 委員出席者数による会議の成立を報告
 会議の公開についての了承を求める
 全委員 同意

【議題（1）会長及び副会長の互選について】

委 員 会長に小方委員、副会長に古川委員を推薦
 全委員 同意

【議題（2）令和6年度事業報告及び7年度事業計画について】

事 務 局 資料に沿って事業の実施内容等及び事業計画を説明

会議の経過及び結果

- 委員 博物館法の改正による博物館再登録の経緯及び登録博物館の内容について教えていただきたい。
- 事務局 博物館法の一部を改正する法律の施行により、展覧会の充実に加えて他分野との連携や職員の資質向上、まちの活性化に寄与する等の役割が多様化したことにより、登録博物館としての基準の幅が広がったことに伴い県に申請を行い、博物館の再登録となったものである。
- 委員 講座室について Wi-Fi スポットが整備されているか。
- 事務局 講座室も整備済みである。
- 委員 インバウンドについて、どこの国から来たのかどのように判断するのか。
- 事務局 可能な限り受付で聞き取りをしている。
- 委員 来館者が多様化し、困っていることはあるか。
- 事務局 パンフレットを多言語化し、ホームページの作品解説も英語表記している。また、看視員については、全員が外国語で対応ができるわけではないので、苦慮していることもあるようだが、概ね対応できている。
- 委員 美術館に学芸員が何名いて、展覧会をどのように割り振りしているのか。
- 事務局 高松市美術館には管理職の学芸員が1名、正規職員が5名、会計年度任用職員が3名在籍している。塩江美術館については、正規職員が1名、会計年度任用職員が1名在籍している。
- 事務局 収集については、当館の3つの収集方針である「戦後日本の現代美術」、「香川の美術」、「20世紀以降の世界の美術」に対応できる学芸員が調査・研究しながら収集・展示をしている。展覧会については、お客様のニーズや当館がやるべき展覧会等、様々なジャンルの展覧会を開催しており、それぞれに対応できる学芸員が担当となり展覧会を企画・開催している。
- 委員 市の教育文化祭開催により高松市美術館への相乗効果はあるのか、中学生の美術部員が参加するワークショップは今後も継続するのか、また、お出かけ美術館に対する子どもたちの評価はどうか。
- 事務局 教育文化祭の展示を鑑賞後、常設展示室を鑑賞する方も多いと考えている。また、中学生美術部員が参加する企画についても学校の負担もあるかと思うが、継続していきたい。なお、お出かけ美術館については、実施後、展覧会に来館する子どもが多くなる状況があり、また、先生方からも好評であることから可能な限り続けていきたい。
- 委員 令和6年度に塩江美術館で実施している出張美術館とお出かけ美術館は同じ趣旨のものか、また、五大浮世絵師展以外で YouTube にアップされた令和6年度の展覧会作品解説、令和7年度にアップする予定の展覧会はあるのか。

会議の経過及び結果

- 事務局 「お出かけ美術館」は子どもを対象とした小学校に出向いて実施する事業であり、出張美術館は市政ふれあい出前トークで要望のあったコミュニティセンターや社会福祉協議会等で行う、一般の人を対象とした事業である。また、動画配信については作品解説だけでなく、簡単な作品作りのほか、講演会やアートアドバイザー講座もYouTubeで動画配信している。また、アーティストトークや記念講演会については、インスタライブも実施しており、令和7年度についても引き続き動画配信には力を入れたい。
- 委員 出前講座にある「アートで遊ぼう！」は美術館に依頼したら良いのか、また、香川大学医学部附属病院で行われた鴻池朋子指人形はどのような事業であったのか。
- 事務局 「アートで遊ぼう！」については市政ふれあい出前トークで申し込んでいただきたい。
- 事務局 「鴻池朋子指人形」については、作品の指人形を病院の病児教室に持ち込み、実際に指人形に触ってもらい、鑑賞しながら対話をしたがとても喜んでもらった。
- 委員 高校生以下の入場者の内訳は分かるか。また、展覧会の企画はいつ頃から計画しているのか。
- 事務局 高校生以下の入場者の割合について、美術館学習で小学生を受け入れていることもあり、小学生の割合が47%～48%と一番多い。次に未就学児となっており、中学生が一番少ない。また、工芸高校が近いことや無料ということもあり、高校生の来館者もよく見かける。
- 委員 子どもたちが気軽に来館できる美術館となることが大きなテーマである。
- 事務局 子どもたちに小さい頃から美術館に親しんでもらうことが創造性を育み、また、将来の来館者つながると考えており、今後も学校との連携等に力を入れていきたい。
- 会長 「令和6年度事業報告及び7年度事業計画」について承認を求め
- 全委員 承認

【議題（3） 高松市立美術館運営方針の改定について】

- 事務局 資料に沿って内容を説明
- 委員 芸術家の派遣事業のように、子どもたちと一緒にアート活動をするような取組を希望する。
- 事務局 塩江美術館については、香川県ゆかりの作家の展覧会が開催される機会が多いので検討していく価値はある。高松市美術館については、アーティストトークや公開制作等を行っているので、そこで出品作家と触れ合ったりアドバイスを受けたりすることが可能である。

会議の経過及び結果

- 委員 高松市美術館に車で来館する人への割引を検討してほしい。
- 事務局 本市では公共交通機関の利用促進をしているが、自動車利用の来館者が多いことも承知している。ただ、財政難であり、積極的に割引等することは考えてはいない。
- 委員 新たな資金調達を進める上での問題点について。
- 事務局 今後の検討課題のため現時点で問題点を挙げることはできないが、多くの方に趣旨や資金の用途を明確にして理解を得ること重要であると考えており、協議会の意見も参考にしながら新たな資金調達方法を検討したい。
- 委員 友の会会員の様々なキャリアを、子どもや年齢を超えた市民との対話にいかすのも人材活用として素晴らしいのではないか。また、企業等と連携することで、より多くの人たち関われる仕組みができるのではないか。
- 事務局 年代を縦割りではなく、横断的につないで事業を計画することや企業との連携については、今後の運営にいかしたい。また、協働のパートナーである美術館友の会や美術館ボランティア civi とも連携を深め、様々な事業に取り組めるように努めたい。
- 委員 創造都市推進局長として、まちづくりの観点から、高松市立美術館の運営方針やその位置付けについて、どのように考えているか。
- 事務局 創造都市の推進には、文化芸術と産業経済の融合だけでなく、本市全体のにぎわいづくりのベースとなる人材の育成が重要と考える。また、高松市立美術館は、社会教育施設に加え、観光拠点としての位置付けも担う施設であるべきと考えており、今回、各委員からいただいた意見も参考にしながら、地域と連携を図り、取組を進めてまいりたい。
- 会長 「高松市立美術館運営方針の改定」について承認を求める
- 全委員 承認
- 会長 ICT を活用すれば、作家さんと複数の学校がつながることができるのではないか。また、運営方針については世の中の動きに合わせて柔軟に見直しても良いのではないか。
- 【議題（４）その他】
- 事務局 開催中のコレクション展、次回特別展等の案内
- 会長 閉会